

## HIV-1 Gag p15

05-007 20 µg, 05-008 100µg

HIV-1 Gag p15 は、前駆体である Gag p55 から HIV-1 のプロテアーゼにより切断されて生成する。このタンパク質は、さらにヌクレオカプシドタンパク質 p7 と機能不明の p6 および p1 に切断される。この切断は、p7 の領域に存在する 2 つの Zn フィンガーモチーフによる HIV-1 ゲノムの RNA との結合によって促進する。また、生成したヌクレオカプシド p7 タンパク質は、HIV-1 ゲノムの RNA と直接結合することにより、RNA の機能を調節している (1)。

本品は、HIV-1 ウイルスゲノム (サブタイプ B (2)) の *gag* 領域にコードされている p15 遺伝子をプラスミドにクローニングし、大腸菌で多量に発現させ、クロマトグラフ法などにより高度に精製したものである (3)。エイズウイルス粒子から精製された p15 と同じく、分子量が 15 kD である (図 1)。

### 用途

- 1) HIV-1 ゲノムの RNA の存在下で HIV-1 のプロテアーゼの基質として使用できる。
- 2) HIV-1 ゲノムの RNA と結合するヌクレオカプシド p7 タンパク質の前駆体としてエイズウイルスの構造や機能の研究に使用できる。
- 3) ウェスタンブロット法や ELISA 法を用いた抗 HIV-1 p15 抗体の検出に p15 抗原として使用できる。
- 4) HIV-1 p15 抗原の定量を行う場合のスタンダードとして使用が可能である。

### 製品の性質

純 度 : SDS-PAGE (CBB 染色) で 90%以上が p15 タンパク質  
濃 度 : 0.42 mg/ml (BCA 法で決定)  
性 状 : 50% グリセロール, 20 mM Tris-HCl (pH 7.5), 50 mM NaCl,  
10 mM メルカプトエタノール  
保 存 : -20℃

データリンク GenBank: [AAA44988.1](#)

### 文献

1. Freed, EO. "HIV-1 gag proteins: diverse functions in the virus life cycle." *Virology* **251**:1-15 (1998) PMID: [9813197](#)
2. Adachi, A. *et al.* "Production of acquired immunodeficiency syndrome-associated retrovirus in human and nonhuman cells transfected with an infectious molecular clone." *J. Virol.* **59**: 284-291(1986) PMID: [3016298](#)
3. Saito, A. *et al.* "Overproduction, purification, and diagnostic use of the recombinant HIV-1 Gag proteins, the precursor protein p55 and the processed products p17, p24, and p15." *Microbiol. Immunol.* **39**:473-483 (1995) PMID: [8569532](#)

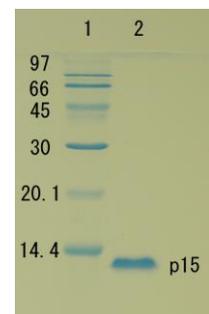


図 1 HIV-1 p15 タンパク質のポリアクリルアミドゲル電気泳動